

パブリックコメント手続の実施結果について

下記の案件について、市民の意見を募集するパブリックコメント手続を行なったところ、次のとおりご意見をいただき、ご意見に対する結果（意見の概要と市の考え方）をまとめましたので、お知らせします。（なお、意見募集案件以外のご意見は公表いたしません。）

◆ パブリックコメント手続の実施

対象案件	第6次富良野市総合計画前期基本計画（素案）について
意見募集期間	令和3年1月14日 から 令和3年2月2日 まで
担当部署（問合せ先）	総務部 企画振興課 （電話 0167-39-2304）
意見提出件数	意見提出者数 <u> 3 </u> 人 （個人 3人 ・ 法人 0人 ）
	意見提出件数 <u> 26 </u> 件

◆ パブリックコメント手続の結果（市民意見提出手続の結果）

提出のあった意見の概要	市の考え方 （原案を修正したときは修正内容）
0才から18才まで医療費無償化について（1件） ・ 全額無償化だと経済的に助かりますが、デメリットもいろいろ出てくると思います。そのため、薬代だけは自己負担の無償化というのは、どうでしょうか。	・ 子育て世代への負担軽減を考えていく中でのご意見として参考にさせていただきます。
学校の各教室に冷房設置について（1件） ・ P59小中学校教育「確かな学力の育成、教育環境の充実」で、「施設環境や教育の質の向上に資する施設環境の整備が求められています。」と書いてありますが、子供達の夏場の教育環境を良くするため、早く冷房をつけてあげてほしいです。	・ 富良野市学校施設長寿命化計画の実施計画に基づき、計画的に施設整備を進めて参ります。
親子のための性教育について（1件） ・ 近年、親子のための性教育を教えてくれている講師の方々がいるので、その方たちに講演会をやってほしいです。	・ 「家庭教育講演会」のテーマの1つとして参考にさせていただきます。
高校の国際外国語学科の配置について（1件） ・ P60高校教育「市内高校の魅力づくりと生徒の確保」で、「富良野市の未来を支えるべき優秀かつ必要な人材育成のため、市内高校の配置及び学科について検討する必要があります。」と書いてありますが、英語・英会話はもちろん、ビジネス英語や中国語、韓国語など学べる場所が欲しいです。観光に偏るのではなく、語学と	・ 市内にある道立高校について、将来の地域社会を担う子どもたちの多様なニーズに合わせ、地域で学べる環境づくりが図られるよう、北海道及び北海道教育委員会へ要請を行って参ります。

<p>会話を広げてもらえば、将来いろいろな職に就いても対応できるため、入学希望者の幅も広がると思います。</p>	
<p>室内クライミングウォールについて（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P58子育てで「冬は長く、観光客の多い富良野市では、安心して子どもが遊べる場所や子育て世代の居場所が不足しています。」、P62家庭教育の青少年教育で「放課後の子ども達の安心で安全な遊び場と学び場を確保し、様々な体験を通じて社会性、協調性、ふるさとを愛する心を育む必要があります。」とあり、P65健康やP74スポーツも踏まえ、子供達やご年配の方たちまで、通年の健康維持がクライミングというスポーツで保たれればと思います。クライミングスポーツは、体全体のバランスを使いますが、手の力で登るのではなく、足の力で登りますので、階段を上がれる人なら幼児からご年配の人たちまで、楽しめるスポーツです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに配慮した居場所、スポーツ施設など環境整備を考えていく中で、ご意見として参考にさせていただきます。
<p>公園環境の整備について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P87公園で、市内に92公園があるという数の多さに驚きました。市民が使っていない公園もあるかと思えます。子供の減少に伴い、遊具を新しくする公園と遊具は設置せず休憩する憩いの場所に分けていくのがいいと思います。草刈りができていない公園もあり、幼児には草丈が高く、入って遊べなかったです。92公園を厳選して市民が居心地よく思える場所に変えてほしいです。管理できる数に減らしてみてもうでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園につきましては、公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化し危険と判断された遊具等の更新を行っています。更新に当たっては周辺町内会の意見を取り入れ設置を行っているところです。いずれの公園も目的を持って設置しており、縮減等については今後の課題として検討して参ります。 ・公園の草刈り等の管理については、委託業務として各団体等に依頼をしているところですが、適正な管理を行うよう努めて参ります。
<p>安全な歩道の整備について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P85道路、P89都市計画、P90中心市街地の施策で、歩いて生活しやすい町にしてほしいです。高齢者の多い富良野で、高齢者目線での歩きやすい、生活しやすい町にしてほしいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年整備を行っている道路につきましては、段差を減らすなどバリアフリーを考慮して歩道の設置を行っているところですが、古くより整備した道路については段差のある歩道が多くあるため、今後の道路改修を行う際にはバリアフリー化を進めて参ります。
<p>パブリックコメントのわかりやすい説明について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の多くの人に興味を持ってもらい、多くの市民が町のことを考えてもらいやすいように、形式的な投げ掛けではなく、青年の子供にもわかりやすい語り掛けた方法で説明してみてもうでしょうか。また、説明会を開いてみるとうでしょうか。 ・今回、多くの計画等のパブリックコメントの概要が一度にまとめて広報に載せてありました。詳しく知りたい方はQRコードで見られるようになっていましたが、なかなかQRコードには入っていかなかったり、QRコードを開いたとして 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加手続きに対してのご意見として参考にさせていただきます。

<p>も公表場所に置いてあった分厚い資料だと読む気持ちが下がってしまいます。広報で1つの種類ごとに分けて特集を組んで、1つの種類を詳しくわかりやすく説明を載せていただければ、まだ読む気がすると思います。</p>	
<p>生活排水について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P88上下水道で「下水道処理区域外における汚水処理について、合併処理浄化槽の普及促進が課題となります。」と書いてありましたが、生活排水がそのまま川に流れる環境なので気になります。 ・P98地域コミュニティ、P105環境保全の観点で、生活排水を流れている溝の掃除を市でやっていただきたいです。地域は高齢者がほとんどで動ける人手も仕事に出ていて地域の溝をすべての掃除をできません。泥、ゴミ、枯草がつまっていますので、何年に一度という頻度でお願いできればと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活排水の処理に関する課題として整理しており、施策の展開方向の中で「処理区域内未接続者の解消と処理区域外における合併処理浄化槽の普及促進を図ります。」としております。 ・道路側溝は雨水を排水する目的で設置を行っており、大雨などによる浸水被害を未然に防ぐため、土砂等が詰まり支障を来している区間については清掃を行っているところです。今後においても調査や町内会等に聞き取りを行い、支障のある箇所については順次清掃を行って参ります。
<p>光回線について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P95情報ネットワークで、光回線未整備地域はこれから工事が始まり、令和4年から使えるみたいなので、なるべく光回線が早く使えるようにお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、民間事業者による整備を進めており、令和4年度中に整備地域内一斉にサービスを開始する予定です。
<p>将来人口推計について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P17 2025年の人口推計は19,400人ほどに減るし、2020年末のグラフが現実より盛られてるため、独自推計は実現不可能と感じます(2020年度末で2.1万割れ)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来人口推計は、2015年国勢調査を基にした人口推計（社人研推計）では、2010年国勢調査の社人研推計より人口減少幅が拡大しており、富良野市独自で住民基本台帳による出生率や転出入者の移動率で算出した人口推計では、人口減少が更に加速している状況となっています。今後の人口減少の状況によっては独自推計よりも更に減少することが予想されます。
<p>デジタル人材について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P52 デジタル人材の育成とありますが、その方策が示されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル人材の育成は、重要な課題の一つと理解しております。具体策としては、ICTを活用した社会的課題解決の知見やノウハウを有する民間企業からのデジタル専門人材派遣を受けて職員の育成を予定しており、平時よりデジタル化政策の発信と共有を積極的に行うことで、自己研鑽を促す機運づくりに取り組んで参ります。
<p>高校教育について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P60 市外高校への流出解消と難関大学進学をリンクさせるには、市内高校生徒を増やす為、旭川との学区分けを復活させることにより2割の高校生が旭川へ通う現状を地改め地元進学を増やし、2高校を合併しレベルアップにつなげるしかありません。魅力ある高校づくりができれば、島根県立隠岐島前高等学校のように、 	<ul style="list-style-type: none"> ・公立高等学校の配置計画について、地域の教育ニーズを踏まえ、地域を担う人材育成と多様な進路実現の観点から、市内にある道立高校の体制強化が図られるよう、北海道及び北海道教育委員会に対し要請を行って参ります。

<p>普通科1学年2クラスで全生徒数154人（うち県外留学生80人）進学もすごいです。市立三笠高校は学科に特徴があり地域外から多くの生徒が集まります。三笠市長の話を見ると、よそから進学した高校生がレストランを毎年開業しているそうです。高校生時代に旭川など都会で育った子供たちの地元回帰は少ないのだろうと思います。富良野市に高校が旭川と富良野での地元回帰率に関する統計があるのではないのでしょうか。</p>	
<p>多文化共生について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P72 ベトナム中国などの技能実習生が滞在する施設を作るべき。旧北の峰ハイツや廃校になった学校を改修して作るとは他の街でやっています。寝るところがあれば働きに来やすいです。まちづくりやコミュニケーションを図るとありますので、その連絡システムを作るべきです。滝川市ではTIEA FRIENDSという市が管理の国際交流グループがありここを通じてのコミュニケーションが盛んです。滝川市ではJICA100%負担の農業研修を毎年受け入れ続けています、これにはアフリカアジアの将来を担う人たちが参加されており、将来的な外国人観光を増やすことへの種まきだと感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技能実習生の住居確保は、受け入れる事業所が行うことが原則と考えます。今後、受入実態の推移や労働力確保の状況、住宅確保の困難性を注視し、行政として取り組むべき状況が発生した場合は、検討して参ります。 ・外国人市民への情報提供、相談窓口の充実を図り、交流活動を通じたまちづくりを進めて参ります。
<p>観光統計について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・72頁 市役所HP観光・イベントボタンを押しても観光統計が見ることができず、11月1日迄最新情報をさかのぼらないと毎年の観光統計がアップされていません。 <p>外国人観光客の統計に重大な不備があります。</p> <p>⑤外国人国別宿泊推移グラフで平成28年から連続して【アジア・ヨーロッパ・オセアニア】の《その他》統計が“0”というありえない結果が続いています。例えば私がスキー場であったのはミャンマー・スウェーデン・フィンランド・デンマーク・スペイン・クロアチア・イタリア・ジョージア・ニュージーランド・ジンバブエなど。特にワールドカップスキー/スノーボードを開催している国ではFURANOは日本最多開催のスキー場として名前が通っているのでヨーロッパは国別統計が必要だと感じていますし、《その他》がゼロということはありません。コロナで外国人が減っている今書式を修正し、令和年度からは正確な統計を取ることが観光政策には必須です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観光統計の検討にあたってのご意見として参考にさせていただきます。
<p>スポーツについて（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P74 スポーツ施設の集約と移転には若葉球場となりの空き地や山部野球場生涯学習センター裏、旧寿光園、山部中学校などが利用できます。高校合併で緑峰高校を閉鎖してその敷地を利用することも可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設の集約や移転のご意見として参考にさせていただきます。

<p>移住定住について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P75 ワークेशन・ロングステイで富良野へ滞在する方の中には気に入って住み着く人たちがいます。「心の伊達市民」「ふるさと住民票」等ファンが登録でき交流できる仕組みがあればこの交流が強まります。 <p>移住促進協議会をワークेशन研究会と合併再興するとともに、中富良野・南富良野・占冠のように移住者に現金給付や医療費補助、賃貸住宅建設個人住宅建設に新築中古かかわらず現金給付を始める。特に中富良野へ移住する富良野市民が子育て世代が多いのは金の問題。空知では地元企業での建築には補助を割りまし、地域の建設業を支援しているところが多い。滝川市などでは子育て世代に月2万円まで家賃補助(3年間)、高齢者が自宅を賃貸へ貸し出す登録をして高齢者施設へ入居すると7万円現金給付されます(中空知住み替え支援協議会)。協議会ではHP, チラシで定期的に入居者募集や販売をし、年間20件ほどの入居に繋がっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住施策のご意見として参考にさせていただきます。
<p>関係人口について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P76 宿泊施設がモバイルワークを行う施設は各自で用意すればよいことです。補助をせずとも多くの気が利くところはすでに設置しているので対応しないのは各個判断です。テレワーク環境は旧山部中学校・旧北の峰ハイツ・老人青少年人材開発センターなど箱が沢山あるのでこれを転用すればよく、民間施設への補助は利用が見込めれば自ら投資して開設します。そのための市の改修補助があるのでさらなる上乘せは不要です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口創出のご意見として参考にさせていただきます。
<p>商工業について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P80 メイドインフラノ年間2個しか増やさないのは目標としていかがでしょうか？創業支援にはチャレンジショップが3か所埋まったままなので、増設すべきです。すでに店舗はほぼ空きがないので新しい貸しテナントを建築する場合に建設費補助をしてでも創業者を増やす箱が必要です。既存の店舗改修補助制度があっても創業できる箱が無いと不可能です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メイドインフラノ認定商品数については、富良野市総合計画・総合戦略有識者会議の中でもご意見がありましたので目標値を見直し、これから10年間で約40商品の認定を目指して参ります。 ・空き物件を利活用して創業する場合、市の店舗等新築改修費補助事業や新規出店家賃補助事業を組み合わせることで、チャレンジショップと同様の支援が可能であり、空き物件の有効活用を兼ねた創業支援を行って参ります。貸しテナント物件の建築への支援に関しては、現状、空き物件も徐々に発生していることから、当面行う予定はありません。
<p>デジタルについて（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P80 デジタルツールの活用とあるが、今テラセントとデジログで協力体制があるのでこれがあるうちに市内全域デジタル社会になれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では、ICTの恩恵を市民誰もが享受できるデジタル社会を目指し、高齢者向けのスマホ教室やLINEアプリ活用教室などを検討

<p>よう、全世代全世帯への指導会があるとよい。高知県の上勝町ではおばあちゃんがインターネットではっぱビジネスに取り組むのが普通で皆元気になるので老人ホームが無くなりました。仕組みをつくった(株)いろどりでは町から委託を受けて移住定住人口の増加やファンづくりインターンシップを行っていて約30人が人口1500人の国道が通らない街へ移住しました。20ほどの新事業で神山町はITでまちが活性化しやはり創業が増えています。</p>	<p>しています。また、先進自治体の取り組みにつきましても、本市の取り組みにも生かせるよう検討の参考とさせていただきます。</p>
<p>観光について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P81 観光専門人材の育成とはどうするつもりかが書いてない。デジタル人材の育成・観光専門人材の育成とあるので、市立看護学校の間口を増設してデジタルコース・観光コース・語学力養成コースを作るべき。旧山部中学校を転用すれば国内外から集まる生徒と地元で進学する生徒が集まる。通学にはJRを利用することで廃止を遅らせることができるし、学業以外のアルバイトや地元民との交流が可能になり、国際交流も進む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「観光専門人材の育成や確保を継続的に推進し、観光マネジメント組織の確立を目指します。」を、「デジタル活用による利便性向上や観光コンテンツのガイド、マーケティング等の観光専門人材の育成や確保を継続的に推進し、観光マネジメント組織の確立を目指します。」へ修正します。 ・教育機関の開設については、ご意見として受け止めさせていただきますが、整備及び運営に必要な財源の確保が課題となります。
<p>ふるさと納税について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税が少ないのは魅力ある返礼品がないから。南富良野などが増えたのは返礼品が良くなったから。知名度が高いのに北海道全体の下位にしかならないのは富良野の人气が下降していると共に担当者が返礼品を考えてないからだと感じる。 <p>体験観光専門ふるさと納税サイト「さといく」では返礼品を受け取るのが現地へ行かねばならないが、美瑛などでは農家さん訪問やアウトドア体験、青い池ツアーやスノーシュー体験など、現地へ訪れてファンになってもらう取り組みを進めている。北見では焼肉クーポンで現地へ来てもらう仕組みを作っている。単なる一泊もあれば、JALと組んで旅行をしてもらう返礼品があって、これらは富良野市でも取りくめると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・体験型返礼品につきましても、納税先の自治体を訪れることにより、関係人口の増加による地域の活性化も期待できることから、その仕組みを学び、本市の返礼品として活用ができないか検討して参ります。
<p>人口減少対策について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減をスローダウンするには、最も人生に影響を与える高校時代大学時代に地元に残ってもらう、しまね留学のように外部から入ってもらうことが最も効果があると考え。そのためには高校や看護学校や各種学校をスポーツ、ICT、観光語学、受験に強くするのが最も効果が上がると考える。 <p>南阿蘇村の知り合いが、地震でほとんど使われなくなり、1000人の学生がいなくなった村に観光語学ITを学ぶ学校法人を建て2023年開学となります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本市では今後の人口ビジョンを設定するにあたり、出生率は現状を維持しつつ、主に20～40代の転出を抑制することで、2040年時点の人口を15,620人となることを目指しています。 ・高校再編については、今後の生徒数の状況と地域の教育ニーズを踏まえ、市内の道立高校の在り方について、北海道及び北海道教育委員会へ要請を行って参ります。 ・用途廃止等により未利用となった公有財産については、有効な利活用の検討を行って

<p>山部中学校や生涯学習センター、今後も増える使わない公共資産の利活用に使い、外から人を呼び込む手法の一つだと考えていますので、一案として最後にお伝えします。地域活性化にずっと取り組んだ方、滝川で講演をお聞きしました。</p>	<p>参ります。</p>
<p>郷土愛について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P35「郷土愛につながる富良野でしかできない『体験』の推進」で、スキーのまち富良野も該当すると思います。でもニーズに応えるようにしていくことが大事なので、例えば、高校生も含め市民のスキー場利用の割引率を上げたり、市民が利用できるスキーリフト券の割引内容や種類を増やし、選択肢を広げてはどうか。 ・ 農業と観光のまち富良野という視点を生かし、それに特化したことをより打ち出す。例えば、地産地消100%を目指した給食、地産地消の物が手軽に買える価格と店がある。（いつも食卓に並んでいる。）など。農業・酪農×食べ物がおいしい＝人口増につながると思います。 ・ 住みやすいし、住んでいて楽しいから“幸せ”につながっていくと思います。それだけに人口が増えた時は、住む前と住んだ後からの印象が変わらないように（がっかりさせない）ことが必要になってくると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 郷土愛に関するご意見として参考にさせていただきます。
<p>子育てについて（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P58「切れ目のない子育て支援」で、生活するにあたって、子供がしっかり成長していける環境が今の富良野市にはあるのか、ライフプランに合わせて今一度隅々まで見直しをすることがいいのではないかと思います。家庭でのお金の負担は少ない方がいいという前提のもとで思ったことでした。一生涯富良野で生活できること、それが安心・安全に、そして幸福へと感じることに繋がると考えます。P63「人々の暮らしの向上と人生100年時代を見据えた生涯学習の推進」にも関連性があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て世代に限らず、青少年・成人・高齢者等のライフステージごとに切れ目のない支援を進めて参ります。
<p>公園整備について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ P85「安全で快適な道路空間の確保」で、道路の整備と合わせて、公園の整備も取り上げていただきたい。冬でも遊べるように道路と合わせて除雪をして整備したら通年で活用がされ、市民生活環境の向上にもなります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の整備については、公園施設長寿命化に基づき整備を行って参ります。 ・ 公園の除雪に関しましては、記載のとおり92箇所の公園を管理しており、維持管理の観点から現時点では困難と考えております。

<input type="checkbox"/> 広報紙____月号への掲載
<input type="checkbox"/> 市のホームページへの掲載（掲載日____月____日）
<input type="checkbox"/> 行政情報コーナー・各支所・文化会館・図書館への供覧・配布（____月____日）